

辰野町景観計画策定委員会 平成30年度第3回 議事録

1. 開催日時 平成30年8月29日（水）午後7時から午後9時
2. 開催場所 辰野町役場 第6会議室
3. 出席者 12名 （委員7名、事務局職員3名、コンサルタント2名）
4. 協議事項
地区区分について
5. その他

開会のことば

（事務局）

本日は委員の皆様には大変お忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございます。ただいまから辰野町景観計画策定委員会を開会いたします。よろしく申し上げます。

それでは、当委員会の会長よりごあいさつをいただきます。

会長あいさつ

協議事項 地区区分について

（会長）

では協議事項に入ります。説明をお願いします。

（コンサルタント）

まず今後の流れですが、今回地区区分が決定したら、次回以降にその地区ごとの景観形成方針を決めていきます。基本理念はいただいた意見を元に修正しており、修正したものは早ければ次回の会議でお示しできます。

【地区区分（面）について、資料に沿って説明】

地区区分については、中央道は管轄が違うため除外します。また、諏訪市との境は暫定とします。

地区区分の案を図面に落としてきましたのでご覧ください。その境界線について、ご自身の感覚と異なるところを出していただき、直していきたいと思えます。

(委員③)

「田園」になっている箇所の一部に、「山里」といったイメージの地域があります。地区区分の種類を増やして「山里」に指定することもできるのでしょうか。

(コンサルタント)

「山里」という区分を作り、感覚的に地域を指定することも可能です。

(委員⑤)

荒神山は「山地・里山」になっていますが、都市公園なので別の区分のほうがよいのではないのでしょうか。

(コンサルタント)

公園施設は「公園」という区分とすることも可能です。公園などの公共施設については、整備の方針を定めますので、それによってルール作りをしていくこともできます。

(会長)

用途地域で見ると、準工業用地は制限が少なくさまざまな建物を建てることのできるため、扱いが難しいです。

(コンサルタント)

荒神山からの眺めへの影響を考えると、荒神山の北にある準工業用地の扱いが重要になります。「商工業」の地区区分になっていますが、「住宅」の区分に変えたり、中心市街地にあたる区分を作ることもできます。

【「まちなか(仮)」という区分を作る】

(コンサルタント)

豊南短大は「山地・里山」となっていますが、「公園」とすることもできま

す。周辺との一体感があるので、このままでもよいと思いますがどうでしょうか。

(委員②)

「山地・里山」でよいと思います。

【意見を出し合いながら境界線を変更】

(コンサルタント)

景観計画は見直しできるので、地区区分もそのときの状況に合わせていくことができます。今回作成した地図をもとに、きれいに線を引いたものを次回会議に用意してきますので、ご確認いただきたいと思います。

【地区区分（軸）について、資料に沿って説明】

(コンサルタント)

軸の景観についてですが、段丘林は加えるべきでしょうか。

(会長)

段丘林は、町内では北の沢川やめがね橋周辺くらいで、日常的には意識していないかと思います。

(委員⑥)

町内では他にあまり思い浮かばないです。

(委員④)

段丘林に関しては、辰野町は上伊那他市町村とは様子が違うと思います。

(コンサルタント)

では、段丘林は軸の景観に入れないこととしたいと思います。方針などの部分に入れる可能性はあります。

河川についてはいかがでしょうか。範囲を広げたり、短くしたほうがよいところはありますか。

【意見を出し合いながら範囲を変更】

(コンサルタント)

きれいな図面を作ってきますので、次回以降に改めてご確認いただきたいと思いをします。

その他

(事務局)

次回開催日の都合はいかがでしょうか。

【9月27日（木）午後7時からに決定。】

閉会

(事務局)

スムーズな進行ありがとうございました。以上をもちまして、本日の景観計画策定委員会を閉会させていただきます。ありがとうございました。